

特35

848

御かぐら歌

全

014630-000-9

特35-848

御かぐら歌

中山 美支/著

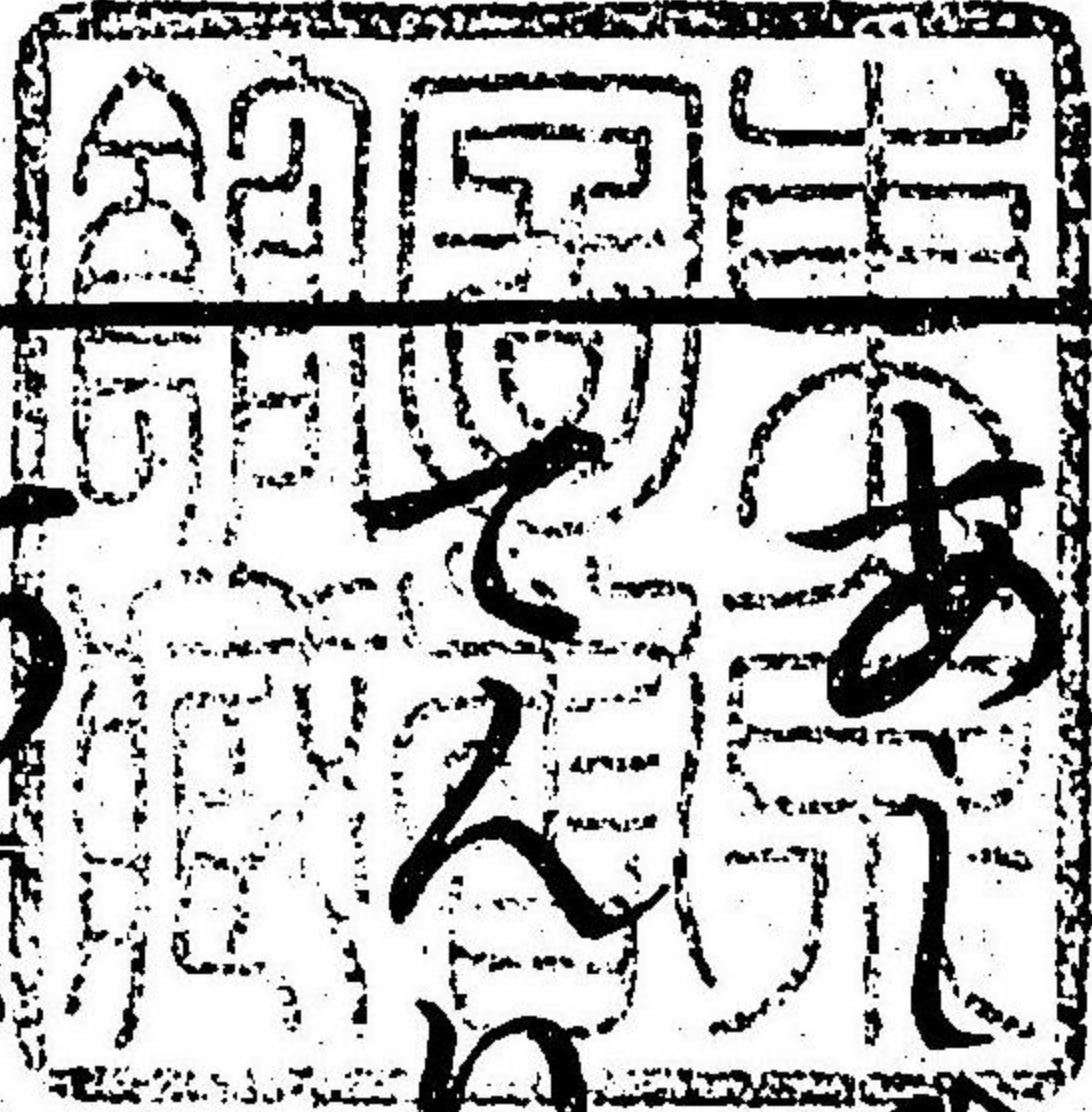
M21

ABB-1061



特35
848

№13030



みるぐらうた



あしきをはらうてたすけたまへ
てんりおうのみふと

ちよとはなしのみのゆうふと
きいてくれあしきのふとわ
ゆるんでなこのよふのちいと

神道天理教會所本
直轄



てんとをこのたどりてふうふを
あしりへきたるでなされいとの
よのはじめだいし
あしきをはらうてたすけ
せきあむいちれつすまとして
かんろふだい

よろづよのせいのれつみはらせど
むねのまがりたものわなない
そのはづやとてきかしたこといない
あふぬがむりでないといな
たのたびわのみがうおえてへらふれて
なほあつたをさきあす

すのちちりやまのまばのこのみぐたこと
ほうくしれどせもまきとぬ

木のえとをくわしくきいたとなぐ
いかなえのでえあいにしなる
きたくづたずぬくるなぐゆてきらす
よろづいさこのもとななるを

かみぐでいなよのくさくをといなぐ
せかくしれつうさいむなり
しれつよはやくたすけをいそぐの
せかくのちりをいせいぬのけ

一 下り目

しつし月まゝのさづけあ

やれめづらし

二につちりさづけえりた

やれたのをし

三きんさろをさだめ

四よのな

五りをさく

六むーろむろむろ

七なほむろりるな

八やむろほんや

九ちいむろころ

十とりめがさだまりた

ニストリ目

いんくんとは月おどりはたぬ
やれおをーり
いんぎなふーんのれ
やれよぎわーや
ニッみよーく
四ッよなおり

みいづれをつきくるか
さむほんのぬへをさ
七ッなんぎゆをた
ハッやまいのぬへを
九ッけりをさだめ
十ッとらのおさまり

三下目

しこのせとせよか—しこの
しとめのせよか—しこのせとせ
しよか—しこのせとせ
たれおたのみよかけぬどを
しよか—しこのせとせ

でけたちよか—しこのせとせ
しよか—しこのせとせ
しよか—しこのせとせ
しよか—しこのせとせ
しよか—しこのせとせ
しよか—しこのせとせ
しよか—しこのせとせ

ひとすまぎぢくろよなからい
七ッなんぞもちれあふじとすまぎよ
かみおをたれてゆきまする
ハッやむほどつふいさといな
マッしをこれかぶじのさ
九ッあまもであんどまたけれど

をこのかみといまふな
十ッあのだびあふわれた
あつのかみおわえあいな

四下り目

十一ッじがなにはおらとを
かみおみているまな

ふたりのあつろをおさめいよ
なまのいとおもをたふまれる
みなみといよそばなまの
かみのすることなすいとを
思よるじるどんちやんつとめする
そばをやりまきうたてかり

あつろもたすけがせくせふよ
はやくもふあいなうとい
あむらたはやくふたすけたい
なれどあいろがわからいで
とならよろずのたすけあい
むねのつちよらあはくせよ

ハやおつるおしあつぬわぬける
あろいなんいさみくる
九つとこのよのげくらくや
わしもはやくまらりたい
十つのだびむねのらあり
すみあつるあつたはありがたい

五下り目

しひろいせがいのうちなれば
たすげるところがはまあうふ
二つあつたすげのあところ
おじやはあそのゆるしだす
三つみづとかみとおなじこと

ありのよじれをあらう

四ッよくならないものをなけれど

かみのよきよくわな

五ッいつまでもきんぐ志たとして

よきよきづくめであるほど

六ッむごいかりをうきすれ

やきよきいりよなりそ

七ッなんでもなんきいさぬぞへ

たすけいかりよのたのころ

八ッやきよきいりやないほど

くきよきよきたすけゆく

九ッいかりよのよとのじは

めづらうしとあつらがあふまれば
びんぞも志んぞするなふらば
あなをむすばやないのいな

六下り目

しひとのけらちゆるをのこ
うたがしづかいは色のなるぞ

ニッふしぎなたすけなるがらふ
いかななるたしをみさだめる
ニッみなせがいのむねのうち
かゞみのぶとくふつつるなり
四ッよふおつとあはしつてきた
はれがたすけのをとたてや

五ッしつをぢぶらやとおどろか
すゑでわめづゐきたすけする
六ッむーようやたふふねのいでる
うけとるすゑをせんせゑや
七ッなんばきんぐゑきたせとも
あいろへちがいわならんぞく

八ッやつぱりきんぐゑきたなん
あいろへちがいわでなおよしや
九ッいなまぞきんぐゑきたから
いとつのはらおをみよやなぬ
十ッたのたびみゑまゐした
おんぎのつがいわれかじぎ

七十一目

一ッひとまきはなまにこのましん
ふおいはらつなかけておく
二ッふらいつらがあるなれど
たれをとめるでないはどみ
三ッみなせがいのたつらよ
でんじのいふぬものな
四ッよきあがあつらつお
たれをほいであつらつな
五ッづれのかたをおなまこと
とまをあのちををとめた
六ッむらよとせとゆはんてな

そあわめくしのむねあだい
七ナなんぞいそでんじがほきくのふ
あたまのなまほぞいとてを
ハハやきさいかみのでんじやで
まいたるたぬいみなはある
九クけいこのよのぞんじなふ

且し色あつかりた糸をまじ
十ジこのたびいちれつふ

よふとそたぬをあらわした
たぬをまいたるそののぬい
出急をおかずはくらり

八下り目

しつかりおなごへおんがらよ
いしをたちかきもたないいな
にんぎよなぬんをするなれど
たれはたのみかけんでな
三ッみなさんしとせうくのら
よりきいたしとなふでけとくる

四ッよくのちるをらちこすれ
とくとちいりなをいだめかけ
五ッいままでみあこせいたるとを
うちかふるするのやたはいほよ
六ッむきよおなごらみおぬいむな
むねのうらちよらきんせよ

七ナにらさのさうきうすくんだな
はやくかんふとりのおれ
ハナやまのなのおいとんんで
いしをたちさいをみておいた
九ナのきまらふらあのおいと
おもいどかみのむねだ

ナナこのたびいぢれつよ
すみいづまはただむねのち

九下り目

一ナひちのさいをいぢるまは
一ナせんニせんてだすけぬく
一ナはんがゆかふあひにがひく

かみのせい方ふ夜たれつけ

三ッみれいせがいのむらりよい

よへいにおおきりてあるほどよ

四ッよへいがあるよいせめてくれ

かみのうけとりでけん

五ッいづれのいれもあなたと

六ッやんさだめしてはら

七ッむらみでよおひうでなよ

八ッろさだめのつゝまどい

九ッならいれのとびいぢれつお

十ッつらつらやんをやはあらん

十一ッやまのなぞもあちいぢと

てんりおあめのつとあする
九ッいでつとめをいしていれど
むねのわありたをのいな
とてえのみなをよびたせん
はやくあをへたずぬでよ

十卜り目

一ッいどのあいろとゆらせのい
ちよとよはせあぐんをのなるぞ
二ッふーぎいかなたすけをきといれど
あらわれざるのがいまはづめ
三ッみづのなるなる木のどろろ
はやくいだしてせらいたい

四ッよんをきりなうざりみづや
あちりすみきれじくかんや
五ッいつくまでとれあとい
はなしのたねおかなるほごよ
六ッむづらとはをだしたるを
はやくたすけをいそぐこのふ

七ッなんをいするのをここのふ
わごみうらみであるほごよ
八ッやまいわづらいのなれど
をとを煮りたるをのいな
九ッちのたじまでいちれつふ
やまのいもとを煮れなんだ

十^三このたびあらわれた

やまのほととぎすのうら

十一下り目

十^三このほととぎすの

かみのやまたのうらな

十^三かみへんやうのうら

十^三かみへんやうのうら

十^三かみへんやうのうら

十^三かみへんやうのうら

十^三かみへんやうのうら

十^三かみへんやうのうら

十^三かみへんやうのうら

まだあるなぶづわしせゆは
六つむりふとめるやないほどよ
いろいろあるなぶたれなりと
七つなよせめじふきつちをもちや
たれがまはまへんとなるなぶバ
ハツやままのしちをほりとりて

とせいろかふるばのりやぞ

九つたのたじやぞわいちれつふ

むぬがまのぶんげんぬんな

十つとしいとせくおのず

ぎらぬてむのまじへんら

やれたのまじやならんか

十二ノ目

一ッいちあだうくのらいのびいお
なよののちともしよあせあく
ニッびーちいあはぬーをすするなぶ
うかいたていせいつけよ
ニッみなせのいうだんてと

きたるたいくにおおのけ
目ッおあかしくもあはるなぶ
はやくちあわぬよあてあち
みづぐれあかしくもあはるなぶ
はやくいらあいたていふよ
ニッむりにあはるなぶあんでか。

しづねだんしつかへるぞ
ナニおなぬぐしんまぢらふん
まぢけたぢんまぢりふない
ハニまぢらふんまぢらふん
あゝまぢらふんまぢらふん
れまぢらふんまぢらふん

たてまぢらふんまぢらふん
ナニのたびいちれつふ
だいくのまぢらふんまぢらふん

みのぐらうた終

明治廿一年十月廿一日印刷
全 年十一月一日出版

定價金八錢

版權登錄

著者故

奈良縣平民

中山美支

大和國山辺郡三嶋村五番地

全

相續人

中山新治郎

全國全郡全村全番地

全

發行人
印刷人

前川菊太郎

東京府下谷區北稻荷町甲二番地寄當

